

第529回番組審議会報告

開催日 : 令和6年7月24日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長／中川愛美 委員／佐藤善哉 委員
齋藤義紀 委員／中村出 委員 (レポート参加)

議事内容 : ◎社側報告

1.挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1.番組・視聴率関連 黒須 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長

2.報道・制作関連 後藤 取締役メディア情報局長(代読)

3.意見集約

◇ 第93回系列番組審議会 委員代表者会議 テーマ

「地上波テレビに求められる災害・気象報道の在り方」

◎その他

内容 :

山形テレビの第529回番組審議会が開かれ、第93回系列番組審議会委員代表者会議のテーマ、「地上波テレビに求められる災害・気象報道の在り方」について意見を交わしました。放送・中継などの技術が進歩し続け、SNSが急速に発達する中、取材や発信の方法も変化してきました。命を守るため、防災、減災、また被災した地域の復興のためにできることはなど地上波テレビ局に求められるものについて話し合いました。

出席した委員からは、

「大災害に至る前の、日常で起きている気候変動に対して、視聴者の関心を高めるよう環境やサステイナブルの視点からの報道、定期的な特番を制作してはどうか」

「災害時には地上波と、SNSの併用で情報を求めると思う。地上波には正確さ、迅速さ、誠実さを兼ね備えた信頼できる情報発信を期待したい」

「災害情報を視聴者からSNSでリアルタイムで情報を得られるようになった。その真偽、有効性を見極めなければならない。その上で各地に情報発信者とのネットワークができれば強い味方になる」

「どのような人に向けた情報発信か、それによって情報の内容が異なり、整理して分かりやすく伝えていかなければならない」

「災害時は停電が考えられテレビを見る場合はカーナビのテレビで見るケースが考えられる。小さな画面でも見やすい情報の画面構成を考えてほしい」

「地元のテレビ局だからこそ分かる地域の特性などがありそれを踏まえた災害情報を伝えられるのが強みだと思う。過去の災害等から学び日頃から準備しておくべき」

などの意見がだされました。

以上